

令和2年度 中高生 NPO 体験セミナー実施報告書

令和3年1月8日
菊川市市民協働センター



■ 目次

I. 中高生 NPO 体験セミナーについて	P.2
II. 各体験セミナー紹介	P.3~12
III. 学校・セミナー別参加人数一覧	P.13~14
IV. 参加者アンケート結果	P.15~30
V. 実施団体アンケート結果	P.31~34
VI. 所感	P.34

I. 中高生 NPO 体験セミナーについて

1) 実施目的

次世代を担う中高生が NPO 活動を体験することで、社会貢献について考えを深めてもらうことを目的とする。また、若者参加型の地域づくりの一助となることも意図する。

2) 期待される効果

<中高生>

NPO 活動を体験することによって、自己の新たな可能性に気づく。また社会貢献を目的とした事業にふれることで、職業選択の幅を広げることができる。

<NPO 法人>

専門性や先駆性を活かした学習や体験を盛り込んだ内容を実施することで、次世代の人材育成の一助を担う。

3) 実施概要

開催期間	10月3日(土)～12月28日(月) ※期間内で各 NPO 法人が実施日時を設定する。
セミナー数	10 セミナー
参加人数	23 人 (延べ 34 人)
主催	菊川市市民協働センター
共催	菊川市内 NPO 法人 9 団体

4) 昨年との変更点

a. 新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染拡大により中高生の夏季休暇が短縮されたことを受けて、開催時期を 8 月から 10 月以降に後ろ倒しして、土日祝日に実施した。また、各日の受け入れ人数は 5 名までとし、時間は 3～4 時間程度に抑えるなど、感染防止対策の徹底に努めた。

b. セミナー前の事前学習会の開催


中高生にとってより有効なセミナーとするために、NPO についての知識を勉強する場を設けた。また、自分らしい未来をつくるキャリア教育を実践している NPO 法人キーパーソン 21 の協力のもと、自分を知り、自分の意志で取り組むことを引き出すようなプログラムも実施した。※ 詳細については、令和 2 年 9 月度報告資料「令和 2 年度 中高生 NPO 体験セミナー事前学習会 実施報告書」を参照ください。

II. 各体験セミナー紹介

1) 放置竹林の整備と里山資源（伐採竹）の活用

実施団体	<p>NPO 法人里山再生クラブ</p> <p>[活動内容]</p> <p>里山の森を荒廃させている竹を所有者に代わって伐採し、里山の機能や景観の再生を図り、「地域里山の再生」を目指し活動している。</p>
日時	10月3日（土）9:00～11:00
場所	菊川市市民協働センター、倉沢の竹伐採地
参加者数	2名（高校生1名、中学生1名）
体験内容	<ul style="list-style-type: none"> ・里山でのノコギリを使った竹の伐採 ・切った竹を竹粉にするための粉碎作業の手伝い <div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;">     </div>
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・切った竹を粉碎することを知り、また体験もできて良かった。 ・粉碎機に入れた竹がすぐに粉になってしまったことが印象的。
NPO の声	実施時期はちょうどよかったが、参加者2名は少し寂しかった。

2) ブラジル人の大人の語学学習をサポート

<p>実施団体</p>	<p>NPO 法人ミライ [活動内容] 外国人幼児の保育事業、外国人への日本語教育事業、母国語教育事業の運営。外国人への日本文化の紹介として、凧揚げ大会や餅つき会などのイベントも開催している。</p>
<p>日時</p>	<p>10月10日(土) 9:00~11:00</p>
<p>場所</p>	<p>託児所ミライ</p>
<p>参加者数</p>	<p>4名(高校生2名、中学生2名)</p>
<p>体験内容</p>	<p>ブラジル人の大人向けの日本語の授業への参加、授業のサポート</p> 
<p>参加者の声</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・改めて日本語は難しいと感じた。 ・日本語を学ぶブラジル人の方の気持ちが分かった。 ・みんなが日本語を学ぶのに真剣だったのでうれしく思った。
<p>NPO の声</p>	<p>コロナ禍の影響で昨年のように長い時間実施できなかったことが残念。参加者にはもっと積極的に質問してほしい。</p>

3) ポニーのお世話体験

実施団体	<p>NPO 法人うまのあと</p> <p>[活動内容]</p> <p>「人と馬の生活文化」を取り入れ、自然の中での環境教育や、出張ポニーなどで馬とふれあいながらの情操教育を推進し、自然と人間が共生する大切さを啓発している。</p>
日時	<p>① 10月11日(日) 13:00~15:00</p> <p>② 10月31日(土) 13:00~15:00</p>
場所	倉沢ラブリ na 牧場
参加者数	<p>① 3名(高校生3名)</p> <p>② 3名(高校生1名、中学生2名)</p>
体験内容	<ul style="list-style-type: none"> ・きゅう舎の掃除 ・ポニーのブラッシング ・乗馬体験 <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;">     </div>
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・乗馬体験が楽しかった。 ・相手の気持ちを考えて行動すること。それは人も動物も同じことだと思った。
NPO の声	<p>すごしやすい時期に体験してもらえたのは良かったと思う。今後はもう少し Q&A を入れるなどして、会話をしながら体験できる内容にしたい。</p>





4) 次世代人材育成事業（講話）

実施団体	<p>NPO 法人傾聴・お話しボランティア</p> <p>[活動内容]</p> <p>高齢者が利用する施設や個人のお宅、学校を訪問し、「傾聴・お話し」を通して、誰もが健康に生活できる共生の社会づくりに寄与している。</p>
日 時	10月17日（土）9:15～11:00
場 所	特別養護老人ホーム 松秀園
参加者数	6名（高校生4名、中学生2名）
体験内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア・傾聴に関する講話 ・カウンセラーによるコミュニケーション技法の実践 <div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;">     </div>
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・自分はコミュニケーションに自信がないため、勉強になった。 ・人の気持ちを考えて話すことは大切だと思った。
NPO の声	<p>会話を苦手と捉えていた若者が、初対面の人とも会話、傾聴を体験することで、気づきを得ることができて嬉しく思う。</p>





5) 災害救助犬の訓練体験

<p>実施団体</p>	<p>認定 NPO 法人災害救助犬静岡 [活動内容] 大災害による行方不明者、および静岡県内の山野で行方不明になった方々の捜索活動に参加するとともに、自身の愛犬の育成訓練、災害救助犬を知ってもらうための広報活動を行っている。</p>
<p>日時</p>	<p>① 10月24日(土) 14:00~16:00 ② 11月14日(土) 14:00~16:00</p>
<p>場所</p>	<p>災害救助犬静岡 訓練場</p>
<p>参加者数</p>	<p>① 2名(高校生2名) ② 3名(高校生3名)</p>
<p>体験内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の要救助役(隠れ役)の体験 ・災害救助犬とのふれあい <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;">     </div>
<p>参加者の声</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・あらためて犬の嗅覚の良さと頭の良さに気づくことができた。 ・この救助犬たちが被災地に行って活躍してくれると思うと心強い。
<p>NPO の声</p>	<p>実際に見ることと、知識として持っているのみとでは、犬に対する感想がずいぶんと変化していくことを感じる。</p>



6) 「ハロウィン」で交流しよう

<p>実施団体</p>	<p>NPO 法人ソヒゾ・デ・クリアンサ日伯交流協会</p> <p>[活動内容]</p> <p>菊川市近郊に住む外国人に対して日本で生活する上で必要不可欠な日本語習得のための「日本語教室」を開催。また、「習字・そろばん・折り紙」などの体験を通して日本文化を理解し、交流を深める活動を行っている。</p>
<p>日時</p>	<p>10月31日(土) 13:00~17:00</p>
<p>場所</p>	<p>シ・イ・ソヒゾ・デ・クリアンサ ブラジル人学校</p>
<p>参加者数</p>	<p>3名(中学生3名)</p>
<p>体験内容</p>	<p>ブラジル人学校でのハロウィンイベントへの参加、運営の手伝い</p>    
<p>参加者の声</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ピニャータを割る遊びが印象に残った。 ・年齢や性別に関係なく、みんな仲良く会話をしたり遊んだりしていることに驚いた。
<p>NPO の声</p>	<p>コミュニケーションを取ろうと思っている子どもたちは積極的に声をかけていた。今後も繰り返し行うことで双方の交流が進むと思う。回を重ねていきたい。</p>





7) ブラジル人の子どもの語学学習をサポート

実施団体	<p>NPO 法人ミライ</p> <p>[活動内容]</p> <p>外国人幼児の保育事業、外国人への日本語教育事業、母国語教育事業の運営。外国人への日本文化の紹介として、凧揚げ大会や餅つき会などのイベントも開催している。</p>
日時	11月3日(火) 9:30~11:30
場所	託児所ミライ
参加者数	1名(高校生1名)
体験内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ブラジル人の子どもとの日本語での交流 ・クリスマス会で披露するお遊戯の練習の見学 <div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;">     </div>
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちとふれあうことができ楽しかった。 ・外国のかたが進学するための制度を調べてみようと思った。
NPO の声	<p>コロナ禍の影響で昨年のように長い時間実施できなかったことが残念。もっと子どもたちと過ごしてもらいたかった。</p>





8) カヤック体験 in 天竜川

実施団体	<p>NPO 法人静岡県教育フォーラム</p> <p>[活動内容]</p> <p>青少年の健康的な成長を促すことを目的に、いじめや不登校、高校中退等のカウンセリングに関する事業を行っている。また野外での体験活動や講演会を通して、生きる喜びを与えることを目指している。</p>
日時	11月23日(月) 10:00~15:00
場所	浜松市北区「相津マリーナ」
参加者数	1名(中学生1名)
体験内容	<p>就労に向けた支援を受けている方との天竜川でのカヤック体験</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとりでカヤックを漕げて良かった。 ・意外とスピードが出たことに驚いた。
NPO の声	<p>参加者はバランス感覚が非常に良く、カヤックの操作の飲み込みも早く、随分楽しめたのではないかと感じました。</p>

9) 世界農業遺産「静岡の茶草場農法」体験会

実施団体	<p>NPO 法人せんがまち棚田倶楽部</p> <p>[活動内容]</p> <p>せんがまち棚田の保全活動を通し、社会教育や環境教育、棚田文化の伝承を行っている。「生物教室」「あぜ道アート」などのイベントを実施し、棚田の美しい景観や貴重な生態系を発信している。</p>
日時	11月28日(土) 9:00~11:30
場所	倉沢の棚田「せんがまち」
参加者数	3名(高校生2名、中学生1名)
体験内容	<ul style="list-style-type: none"> ・茶草場体験(カヤネズミの巣探し) ・菜の花の種まき <div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;">     </div>
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・カヤネズミの巣やいろいろな生き物が見られて楽しかった。 ・草が茶草場になることがすごいと思った。
NPOの声	<p>(静岡大学棚田研究会の学生も一緒に参加したので) 高校生の参加者と大学生との交流ができ、進路について意見交換するなど思った以上の成果があったと考えている。</p>

10) 保育の職場体験

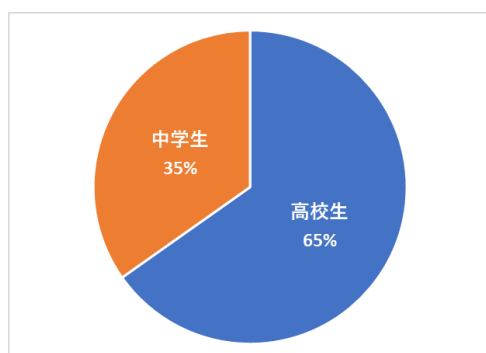
実施団体	<p>NPO 法人生活支援施設かすみ草</p> <p>[活動内容]</p> <p>子ども、子育て中のお父さんとお母さん、障がい者など、すべての人々が健やかに暮らせる地域社会づくりと福祉の増進に寄与することを目的に、託児や学童保育、カウンセリングなどの子育て支援事業を行っている。</p>
日時	12月28日(月) 9:00~12:00
場所	生活支援施設かすみ草
参加者数	3名(高校生1名、中学生2名)
体験内容	<ul style="list-style-type: none"> ・未就学児とのふれあい、紙芝居の読み聞かせ ・おもちゃの消毒 <div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;">     </div>
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの方から「遊ぼう」と言ってくれたのが印象に残った。 ・保育士になるためには、たくさんのができなければいけないことが分かった。
NPO の声	<p>時間が短かったので、中高生との意見交換ができなかったことが心残り。将来の夢とか職業観を詳しく聞いてみたかった。</p>

Ⅲ. 学校・セミナー別参加人数一覧

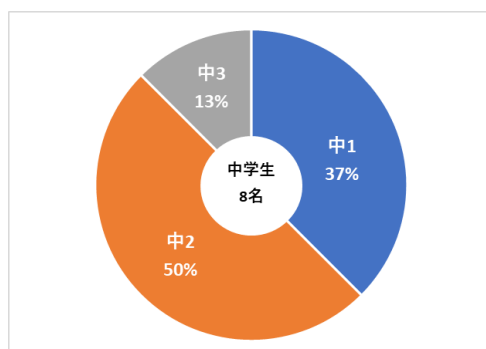
1) 学校別参加人数一覧

No.	学校	中1	中2	中3	高1	高2	高3	学校別
1	菊川市立菊川東中学校	1	2					3
2	菊川市立菊川西中学校	1	2					3
3	菊川市立岳洋中学校	1		1				2
4	静岡県立小笠高等学校					1		1
5	常葉大学附属菊川高等学校				4	5		9
6	菊川南陵高等学校				2		1	3
7	静岡高等学園					1		1
8	藤枝明誠高等学校						1	1
小計		3	4	1	6	7	2	-
合計		23						

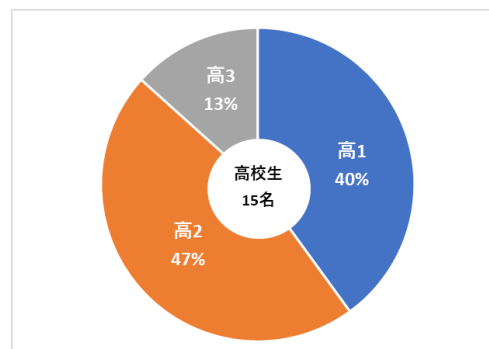
a. 参加者の割合



b. 中学生 学年別参加割合



c. 高校生 学年別参加割合



2) セミナー別参加人数一覧

No.	セミナー名	中1	中2	中3	高1	高2	高3	学校別
1	放置竹林の整備と里山資源（伐採竹）の活用		1			1		2
2	ブラジル人の大人の語学学習をサポート		2		1		1	4
3	ポニーのお世話体験	1	1		2	2		6
4	次世代人材育成事業（講話）	1		1	2	1	1	6
5	災害救助犬の訓練体験				3	2		5
6	「ハロウィン」で交流しよう	1	2					3
7	ブラジル人の子どもの語学学習をサポート					1		1
8	カヤック体験 in 天竜川	1						1
9	世界農業遺産「静岡の茶草場農法」体験会		1			2		3
10	保育の職場体験	1	1		1			3
小計		5	8	1	9	9	2	-
合計		34						

3) セミナー別受け入れ予定数一覧

No.	セミナー名	受入人数
1	放置竹林の整備と里山資源（伐採竹）の活用	5人
2	ブラジル人の大人の語学学習をサポート	各日5人
3	ポニーのお世話体験	各日3人
4	次世代人材育成事業（講話）	6人
5	災害救助犬の訓練体験	各日5人
6	「ハロウィン」で交流しよう	5人
7	ブラジル人の子どもの語学学習をサポート	各日5人
8	カヤック体験 in 天竜川	4人
9	世界農業遺産「静岡の茶草場農法」体験会	5人
10	保育の職場体験	4人

IV. 参加者アンケート結果

セミナー名【放置竹林の整備と里山資源（伐採竹）の活用】

開催日：令和2年10月3日

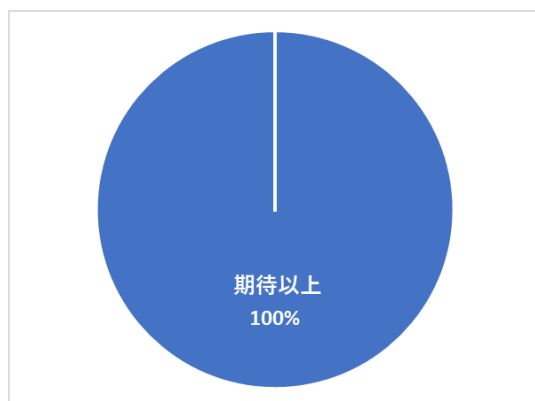
実施団体：NPO 法人里山再生クラブ

回答者数：2/2名

1. セミナーに参加しようと思ったきっかけや理由を教えてください。

- ・竹や自然というものに興味があったから。
- ・去年参加して、今年も協働センターから手紙が届いたため。

2. セミナーの感想はいかがでしたか。



No.	感想	人数
1	期待以上	2
2	期待どおり	0
3	どちらとも言えない	0
4	少し期待と違った	0
5	期待はずれ	0
合計		2

● 「期待以上」と回答した理由

- ・ただ竹を切るだけではなく、切った竹をどうしていくのか（粉碎）を知ることができ、お手伝いとして体験することができたから。
- ・去年とは少し違った体験ができたため。

3. 特に印象に残ったことや、気づき学び、今後に活かせそうなことを記入ください。

- ・竹はまっすぐに伸びるものかと思っていたが、少しななめに生えることもあるのですね。見てみなければ気づくことはできなかった。
- ・竹が一分もしないうちに粉になってしまったこと。

4. 今後体験してみたいNPO活動やボランティア活動があれば教えてください。

- ・イベントや大会の運営など。

セミナー名【ブラジル人の大人の語学学習をサポート】

開催日：令和2年10月10日

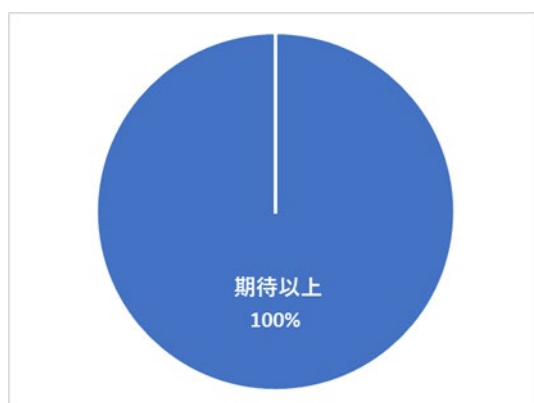
実施団体：NPO法人ミライ

回答者数：4/4名

1. セミナーに参加しようと思ったきっかけや理由を教えてください。

- ・大学進学や就職をする上で、こういったボランティアは私にとって良い経験になるのではないかと思ったから。
- ・ブラジル留学を考えていて、ポルトガル語に興味があったから。
- ・友達にさそわれて、何か新しいことに1つでもチャレンジできないかと思ったから。
- ・昨年、虹の架け橋にボランティアに行ってすごく楽しくて、もっとやってみたいと思ったから。

2. セミナーの感想はいかがでしたか。



No.	感想	人数
1	期待以上	4
2	期待どおり	0
3	どちらとも言えない	0
4	少し期待と違った	0
5	期待はずれ	0
合計		4

● 「期待以上」と回答した理由

- ・改めて日本語について学ぶと意外と難しいところもあって、ブラジルの方の気持ち分かった。楽しかった。
- ・日本人には見られない一面を見ることができた。
- ・皆が日本語を学ぶのに真剣だったから、見ていて私の方がなんだかうれしく思ったから。
- ・授業を聞くだけかと思ったら、参加もできて楽しかったから。

3. 特に印象に残ったことや、気づき学び、今後活かそうなことを記入ください。

- ・ミライの方のお話で、小さなやりたいという気持ちからここまで大きな教室にできることは、とてもすごいことだなと思った。私もそういう小さな気持ちから実現させられるようにしたい。
- ・日本語でコミュニケーションを図ろうとしている姿勢が印象的で、「知りたいことは分かるまで」ということが大切だと感じる事ができた。
- ・日本の方だけでなく外国の方にも少しでもかかわることに、これからもチャレンジしてみたい。
- ・分かりやすくするために、ポルトガル語と日本語を使っていて、自分も親に何か伝えるとき役立ちそうだった。

4. 今後体験してみたい NPO 活動やボランティア活動があれば教えてください。

- ・今回参加させて頂いてとても楽しかったので、また機会があれば参加させて頂きたい。
- ・外国の方とふれあう活動、スポーツを通じて楽しめる活動。
- ・外国の方と関われるものに参加してみたい。

セミナー名【ポニーのお世話体験】

開催日：令和2年10月11日

令和2年10月31日

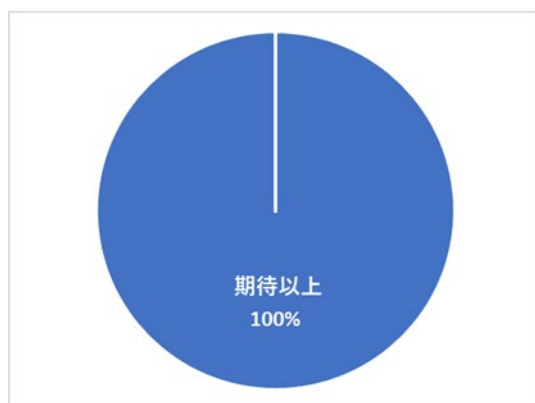
実施団体：NPO法人うまのあと

回答者数：6/6名

1. セミナーに参加しようと思ったきっかけや理由を教えてください。

- ・犬の育成訓練体験セミナーからの招待。獣医になりたいため、今のうちにいろいろな動物とふれあいたいと思ったから。
- ・動物が好きで、馬とふれあえるのが楽しそうだったから。
- ・楽しそうだったから。馬が好きだったから。
- ・馬などの大きな動物と一度ふれあってみたかったから。
- ・家の近くに牧場があり、今までポニーとふれあったことがなかったので「ぜひ近くで見てみたい!」と思ったから。
- ・酪農家になりたいくて、どういうことをしているのかを知りたかったから。

2. セミナーの感想はいかがでしたか。



No.	感想	人数
1	期待以上	6
2	期待どおり	0
3	どちらとも言えない	0
4	少し期待と違った	0
5	期待はずれ	0
合計		6

● 「期待以上」と回答した理由

- ・馬舎の掃除や馬のブラッシングなど通常では体験できないことができたから。
- ・ポニーのお世話だけでなく、乗馬体験もできたから。今まで知らなかったことがたくさん知れた。
- ・乗馬ができるとは思っていなくて、とても楽しかった。
- ・実際に馬に乗ることができたから。
- ・いろいろ質問に丁寧に答えてくれたり、ポニーが可愛かったから。人参だけでなく、みかんも食べるのですね。

- ・キツイことばかりだと思っていたけど、楽しいことも多かったから。

3. 特に印象に残ったことや、気づき学び、今後に活かせそうなことを記入ください。

- ・乗馬でのいろいろな馬の走り方の合図や乗り方、器具などが何のためにあるかを知ることができたこと。
- ・動物とふれあう時に、相手の気持ちを考えて行動すること。そこは人も動物も同じことだと思った。
- ・馬と人間の違いがとても多かった。馬ふんを使って肥料以外にも使えそうだった。
- ・馬に乗った時の馬の走り方がとても可愛かったこと。
- ・ポニーの周りにいたハエは血を吸うのですね。ポニーのふんをたい肥として利用することができるようなので、それを使ってまた牧草とか作れたらすごい。
- ・人は顔で感情が分かりますが、馬は耳で感情が分かって、人と違いを比べたりすると面白かった。将来酪農家になりたいので、この経験を忘れずにいたい。

4. 今後体験してみたい NPO 活動やボランティア活動があれば教えてください。

- ・動物関連ならなんでも。
- ・動物とふれあえる活動にたくさん参加してみたい。
- ・いろいろな動物の世話をしてみたい。
- ・物の販売。
- ・動物とふれあうこのような内容はすてきだと思う。

セミナー名【次世代人材育成事業（講話）】

開催日：令和2年10月17日

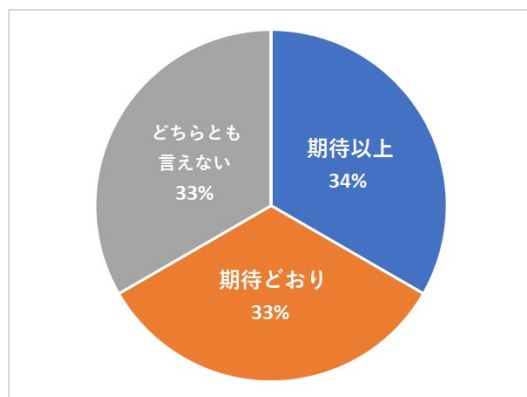
実施団体：NPO 法人傾聴・お話しボランティア

回答者数：6/6名

1. セミナーに参加しようと思ったきっかけや理由を教えてください。

- ・話を聴くということはどういうことか知りたかったから。
- ・自分はコミュニケーションが非常に低いため、人の話を聞く、人と話す上での知識を知りたいと思ったから。
- ・中学3年生として、これからの進路で様々なボランティアに参加するにあたって、大切だと思ったから。
- ・こういった活動に参加したことがなかったので、体験してみたいと思ったから。
- ・介護に関連していると思ったから。
- ・学校でこのセミナーを知ったので、参加したいと思った。これまで老人ホームなどでボランティアに参加していたので、何か役に立つかなと思ったから。

2. セミナーの感想はいかがでしたか。



No.	感想	人数
1	期待以上	2
2	期待どおり	2
3	どちらとも言えない	2
4	少し期待と違った	0
5	期待はずれ	0
合計		6

● 「期待以上」と回答した理由

- ・人との対話を交えてセミナーをしていたから。
- ・コロナの中、ずっと話を聞くだけだと思っていたが、しっかりと他人と話をすることができたので良かった。

● 「期待通り」と回答した理由

- ・話して頂いた内容が、期待していた通りだった。
- ・普段話をしない人でも先生の指示通りに話をしたら、自然と話のできたので、ぜ

ひこれからも活用していきたいと思う。

● 「どちらとも言えない」と回答した理由

- ・最初は難しそうな話だと思っていたが、聞いていて納得できる部分もあったので良かった。
- ・初めてなので傾聴会とはこういうものなのかと感じた。

3. 特に印象に残ったことや、気づき学び、今後に活かせそうなことを記入ください。

- ・人の気持ちなどを考えて話すことは大切だと思った。特に相づちを打たれると自然といい気分になるということが分かった。
- ・今後に ARC 三角形は活かせそうなので、しっかりと活かせるようにしたい。特に僕は人とのコミュニケーションが苦手なので、ARC を活用していきたい。
- ・ARC の三角形や返事の仕方が、これからは活かせると思う。
- ・ARC の三角形とコミュニケーションのキャッチボールが印象に残った。自分はコミュニケーション能力が低いため、すごい勉強になった。
- ・普段は会話がうまく成り立たないことが多いけど、「ARC の三角形」を意識すれば、あまり話したことのない人とも話せそうだと思った。
- ・ARC の三角形の話。

4. 今後体験してみたい NPO 活動やボランティア活動があれば教えてください。

- ・障がい者を対象とした活動や社会福祉についての活動に参加したい。
- ・老人ホームや幼稚園などでいろいろな人と交流したいと思う。
- ・お年寄りの方の体験談などを聞いてみたい。
- ・イベントの運営、高齢者とお話しなど。

セミナー名【災害救助犬の訓練体験】

開催日：令和2年10月24日

令和2年11月14日

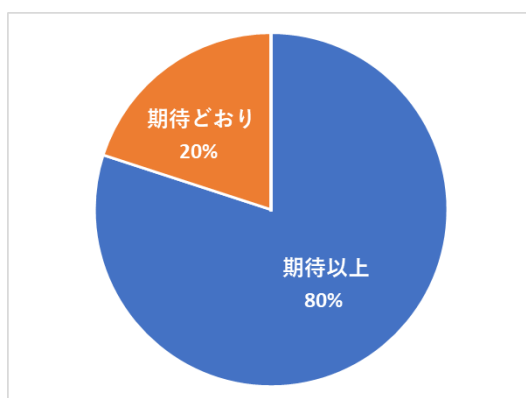
実施団体：認定NPO法人災害救助犬静岡

回答者数：5/5名

1. セミナーに参加しようと思ったきっかけや理由を教えてください。

- ・災害救助犬の役割について知りたかったから。この施設の前を通ったことがあり、どのような訓練をしているのか知りたかったから。
- ・私自身が犬を2匹飼っていて、こういった犬の行事に興味を持ったから。
- ・災害救助犬の育成方法に興味を持ったから。
- ・学校で配付されたチラシでこちらの体験を見て、救助犬についての知識を深めようと思ったから。
- ・あまり見たこと、聞いたことがなかったから。

2. セミナーの感想はいかがでしたか。



No.	感想	人数
1	期待以上	4
2	期待どおり	1
3	どちらとも言えない	0
4	少し期待と違った	0
5	期待はずれ	0
合計		5

● 「期待以上」と回答した理由

- ・救助者体験もさせて頂き、初めての体験でとても学ぶことが多かったから。
- ・あらためて犬の嗅覚の良さと頭の良さに気づくことができ、とても良かった。
- ・私が救助犬について抱いていた想像とは結構違って、とても興味深かった。
- ・自分が実際被災者として体験することができて、より理解を深めることができた。

● 「期待通り」と回答した理由

- ・救助犬の主なやることが分かり、救助人の体験もできたから。

3. 特に印象に残ったことや、気づき学び、今後に活かせそうなことを記入ください。

- ・警察犬と災害救助犬の違いを知れて良かった。救助者を探すにも、たくさんの訓練が必要なんだと知った。
- ・自分が隠れて災害救助犬に探してもらおうというのがとても印象に残った。周りに立っている人には反応せずに、隠れている人だけを探しているところがすごいなと思い、感動した。
- ・救助犬の中にも、吠えるのが苦手なため不利になってしまう犬種がいるのを初めて知った。
- ・ここの活動に参加している犬たちは普段愛犬として可愛がられている子たちで、“少しでも社会の役に立てたら....”と活動しているのが素敵だった。
- ・実際に被災者の方と同じような状況になってみてとても不安に思ったが、救助犬が探し出してくれて安心した。この救助犬たちが被災地に行って活躍してくれると思うと心強いし、私も犬を飼ったら何かしら人の役に立てることをしたい。
- ・においを探して人を探すのが犬ならではのことだと気づいた。

4. 今後体験してみたい NPO 活動やボランティア活動があれば教えてください。

- ・普段関わることのない動物などの活動にまた参加してみたい。
- ・地元（御前崎）で外国人向けの日本語教室の先生をやっているのので、この救助犬の NPO 活動を通して他の様々な活動に参加してみようと思った。
- ・盲導犬の訓練も体験したい。

セミナー名【「ハロウィン」で交流しよう】

開催日：令和2年10月31日

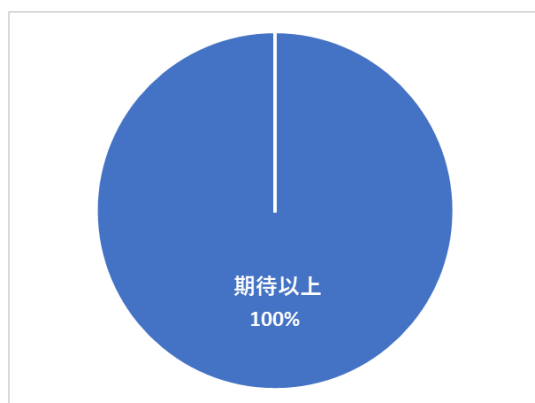
実施団体：NPO 法人ソヒゾ・デ・クリアンサ日伯交流協会

回答者数：3/3名

1. セミナーに参加しようと思ったきっかけや理由を教えてください。

- ・学校で配られたプリントを見て、内容が楽しそうだったから。
- ・親に進められたから。昨年やったから。
- ・学校で配られたプリントを見て、面白そうだと思って参加しようと思った。

2. セミナーの感想はいかがでしたか。



No.	感想	人数
1	期待以上	3
2	期待どおり	0
3	どちらとも言えない	0
4	少し期待と違った	0
5	期待はずれ	0
合計		3

● 「期待以上」と回答した理由

- ・手伝うだけかと思っていたら、生徒さんと会話までできたから。
- ・想像以上に多くの遊びを体験できたから。外国の人と話すのが楽しかったから。
- ・優しく声をかけてくださったり、自分からも言えるようになったから。食べものが美味しかった。

3. 特に印象に残ったことや、気づき学び、今後に活かせそうなことを記入ください。

- ・年齢の全然違う人たち同士でも、会話をしたり遊んだりしていたことに驚き、いろいろな年の人と話せるようになりたいと思った。
- ・ピニャータを割る遊びがあることが印象に残った。
- ・外国の食べ物や遊びを知ることができた。
- ・年齢や性別が違っていても仲良くしていた姿や、私たちに気さくに声をかけてくれたので、私も上下などの区別なく誰とでも仲良くしたいです。

4. 今後体験してみたいNPO活動やボランティア活動があれば教えてください。

- ・カヌーを体験したいと思った。
- ・川下り。
- ・カヌーを体験したいと思った。いろいろな人と関わるのも楽しそうだった。

セミナー名【ブラジル人の子どもの語学学習をサポート】

開催日：令和2年11月3日

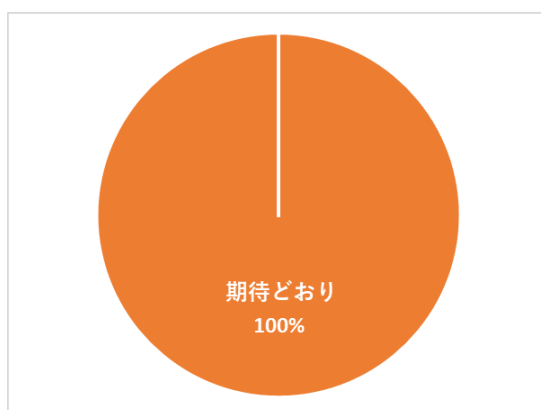
実施団体：NPO 法人ミライ

回答者数：1/1名

1. セミナーに参加しようと思ったきっかけや理由を教えてください。

- ・日本語教育に興味があったため。
- ・母国語を忘れないという目的での活動は初めてだったので、興味がわいたため。

2. セミナーの感想はいかがでしたか。



No.	感想	人数
1	期待以上	0
2	期待どおり	1
3	どちらとも言えない	0
4	少し期待と違った	0
5	期待はずれ	0
合計		1

● 「期待どおり」と回答した理由

- ・子どもたちとふれあうことができて楽しかった。
- ・日本語（ポルトガル語）教室も見たいと思った。

3. 特に印象に残ったことや、気づき学び、今後に活かせそうなことを記入ください。

- ・外国の方が進学するための制度を調べてみようと思った。
- ・コロナで日本語教員が来ることができないと言っていたので、日本語教員がどのくらい日本にいるのか調べてみようと思った。

4. 今後体験してみたい NPO 活動やボランティア活動があれば教えてください。

- ・日本語教室
- ・日本の文化教室

セミナー名【カヤック体験 in 天竜川】

開催日：令和2年11月23日

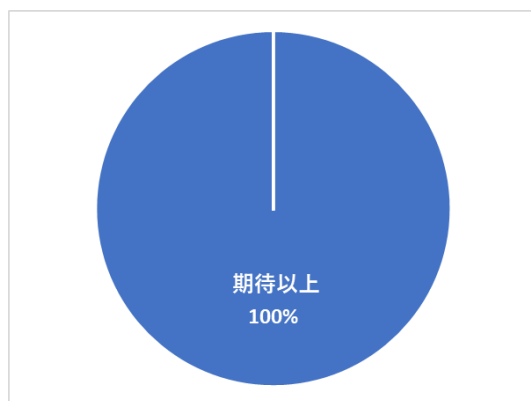
実施団体：NPO 法人静岡県教育フォーラム

回答者数：1/1名

1. セミナーに参加しようと思ったきっかけや理由を教えてください。

- ・親に言われてやってみた。

2. セミナーの感想はいかがでしたか。



No.	感想	人数
1	期待以上	1
2	期待どおり	0
3	どちらとも言えない	0
4	少し期待と違った	0
5	期待はずれ	0
合計		1

● 「期待以上」と回答した理由

- ・ひとりでカヤックを漕げたから。

3. 特に印象に残ったことや、気づき学び、今後に活かそうなことを記入ください。

- ・意外とスピードが出たこと。

4. 今後体験してみたいNPO活動やボランティア活動があれば教えてください。

- ・保育体験

セミナー名【世界農業遺産「静岡の茶草場農法」体験会】

開催日：令和2年11月28日

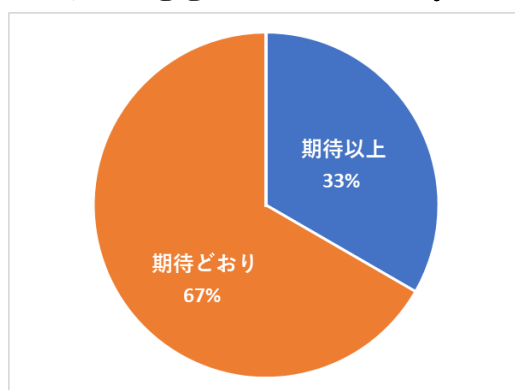
実施団体：NPO 法人せんがまち棚田倶楽部

回答者数：3/3名

1. セミナーに参加しようと思ったきっかけや理由を教えてください。

- ・自然にふれあう機会があまりなく、面白そうだったため。
- ・ここ最近、外に出て自然とふれあう機会が少なかったため。
- ・どんな場所か気になったため。

2. セミナーの感想はいかがでしたか。



No.	感想	人数
1	期待以上	1
2	期待どおり	2
3	どちらとも言えない	0
4	少し期待と違った	0
5	期待はずれ	0
合計		3

● 「期待以上」と回答した理由

- ・菜の花の種を蒔くとは思っていなかった。

● 「期待どおり」と回答した理由

- ・昨年とは違った活動ができたため。
- ・カヤネズミの巣が見れたし楽しかった。

3. 特に印象に残ったことや、気づき学び、今後に活かせそうなことを記入ください。

- ・カヤネズミの巣が見つけれなかったので減っているのかなということが分かった。巣はぐるぐるしていた。
- ・草が茶草場になることがすごいと思った。
- ・いろいろな生き物が見られた。

4. 今後体験してみたいNPO活動やボランティア活動があれば教えてください。

- ・ものの販売体験など。

セミナー名【保育の職場体験】

開催日：令和2年12月28日

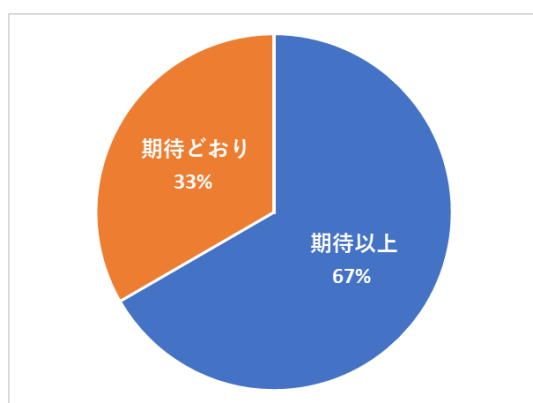
実施団体：NPO 法人生活支援施設かすみ草

回答者数：3/3名

1. セミナーに参加しようと思ったきっかけや理由を教えてください。

- ・中1のときにもボランティアに行っても楽しかったから。
- ・コロナの中でも子どもたちにふれあいたかったから。
- ・子ども（小さい子）が大好きだから。
- ・親に勧められて「楽しそうだな」と思ったので。
- ・元々、小さい子と遊んだりするのが好きなので、募集のお知らせを見たときにやってみたいなと思ったから。

2. セミナーの感想はいかがでしたか。



No.	感想	人数
1	期待以上	2
2	期待どおり	1
3	どちらとも言えない	0
4	少し期待と違った	0
5	期待はずれ	0
合計		3

● 「期待以上」と回答した理由

- ・小さな子たちがたくさん近づいてきてくれて手をつないで遊んだり、ブロックの消毒をしているときも、たくさんの子が「がんばれ」と言ってくれたから。
- ・子どもとふれあうだけかと思ったら、紙芝居を読んだり、おもちゃの消毒をしたりすることができたから。

● 「期待どおり」と回答した理由

- ・子どもたちと遊んだり、紙芝居や消毒などのいろいろな経験をさせて頂けたから。

3. 特に印象に残ったことや、気づき学び、今後に活かそうなことを記入ください。

- ・保育士になるためには、たくさんのがんばりがなければいけないことが分かった。

妹にもとてもやさしく接してあげたくなった。子どもたちが笑顔になると自分も笑顔になれると思った。

- ・「貸して」と言ったら貸してあげたりする姿が見られた。元気いっぱい挨拶をしたり、ダンスをしたりするのが楽しかった。子どもの方から「遊ぼう」と言ってきたのが印象に残っている。子どもは仲が良くていいなと思った。
- ・こんなに小さい子なのにみんな個性豊かだなと思った。また、男の子と女の子の違いも感じた。

4. 今後体験してみたいNPO活動やボランティア活動があれば教えてください。

- ・保育士関係のお仕事がしたい。かすみ草の仕事をお手伝いしたい。
- ・川下り。
- ・スーパーの店員さん。

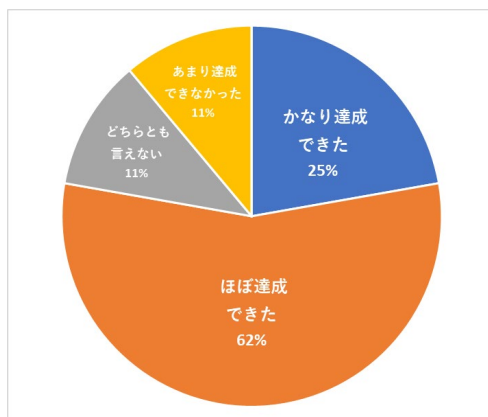
V. 実施団体アンケート結果

回答数：9/9 団体

1. 中高生 NPO 体験セミナーを実施しようとした理由や目的を教えてください。

- ・当クラブは、毎月ボランティア活動（竹伐採、同粉碎）を実施している。協働センターから中高生体験セミナーの依頼があったので、当クラブ活動と兼ねて実施した。
[里山再生クラブ]
- ・外国人向けの NPO 法人があること、このような活動をしている等を知っていただきたいと思って。[ミライ]
- ・初めてのことで、対象として中高生が一番やり易いと思った。自分たちだけでは情報発信に限界があったので、良い広報活動にもなると思った。[うまのあと]
- ・これからを担う子どもたちが自己形成をしていく上で、社会人として必要なことを身につけて頂き、安全で安心して生活することができる社会をつくって頂きたいから。誰もが仲良く楽しく暮らせるように、基本である「傾聴」を正しく取得し、自分の生活も豊かにしてほしい。[傾聴・お話ボランティア]
- ・例年通りではあるが、中高生に救助犬を知ってもらう機会であると思ったから。[災害救助犬静岡]
- ・普段日本で生活していながら、同じ世代の子どもたち（日本人）と接することがほとんどなく、ブラジル人だけのコミュニティーの世界がすべてとなっている。交流したり感じたりしながら、お互いを知りあっていくのによい機会と思った。[ソヒゾ・デ・クリアンサ日伯交流協会]
- ・当フォーラムの NPO 活動の一つである野外体験活動は、不登校や引きこもり（又はその経験者）の青少年たちが、様々な野外体験活動を通じて同世代の仲間たちと群れ集う中で、仲間達や己自身を知り、群れ集う楽しさを体感することによって、不登校や引きこもりを解消する一手段として行っている。近年危機管理を理由に、中高生が本格的な野外体験活動を体験する機会が少なくなり、野外体験活動の中の危機回避や危機対処の方法を学ぶ機会が少なくなっている現状から、中高生がそうした体験や方法を学ぶため実施した。[静岡県教育フォーラム]
- ・私たちの活動の目的として、子供たちに棚田の美しさ、茶草場で育まれる生態系の豊かさを知ってもらい棚田を未来に繋げるという事を掲げている。このセミナーを通じ棚田の活動、茶草場の事を知って頂く良い機会ととらえ、また、私たちと共に活動している静岡大学棚田研究会の学生と同じ世代として、棚田で活動する思いを参加者が大学生と共有することで、私たちの活動を身近に感じて頂きたいと思い応募した。[せんがまち棚田倶楽部]
- ・コロナ禍で大変な時期だったが、中高生に保育の仕事を経験して欲しかったから。[生

2. 中高生 NPO 体験セミナー実施の目的は達成できたと思いますか。また、その理由を教えてください。



No.	感想	法人数
1	かなり達成できた	2
2	ほぼ達成できた	5
3	どちらとも言えない	1
4	あまり達成できなかった	1
5	ほとんど達成できなかった	0
合計		9

- 「かなり達成できた」と回答した理由
 - ・参加者2名はさみしかった。[里山再生クラブ]
 - ・今後予定している体験会プログラムの練習として、かなり参考となった。センター側からも広報してもらえるので、広報活動として大変助かった。[うまのあと]

- 「ほぼ達成できた」と回答した理由
 - ・救助犬として育つまでの一連を見てもらい、要救助者としての体験もしてもらった。また、犬とのふれあいタイムも設けた。[災害救助犬静岡]
 - ・参加した子供たち（生徒）はとても楽しかったと喜んでいて。[ソヒゾ・デ・クリアンサ日伯交流協会]
 - ・浮力を利用したカヤックの乗り方・降り方、パドルの操作の仕方とその理由、体の使い方とその理由は学んだと思うが、初冬のため、沈した場合の対処法までは実施できず、その意味で「ほぼ」達成と評価した。[静岡県教育フォーラム]
 - ・高校生の参加者と大学生との交流ができ、進路について学生たちと意見交換したりと、思った以上の成果があったと考えている。[せんがまち柵田倶楽部]

- 「どちらとも言えない」と回答した理由
 - ・去年のように一日子どもたちと過ごしていただきたかったが、コロナ過の影響で実施出来なかったこと。[ミライ]

- 「あまり達成できなかった」と回答した理由
 - ・時間を短縮（1日のみで3時間）した形で実施したので、中高生との意見交換が

できなかったことが心残り。将来の夢とか職業観を詳しく聞いてみたかった。[生活支援施設かすみ草]

3. 参加者の反応など気付いた点や、今後を活かしたい点がございましたらご記入ください。

- ・参加者には今後もっと積極的に質問などしてほしい。それから行動してほしい。[ミライ]
- ・もう少し Q&A を入れるなどして、会話をしながら体験できる内容にしたいと思った。[うまのあと]
- ・地元の中学生の参加に感謝している。十分な時間が取れず、「理解する」ことに対して少し乱暴な受け取り方をしている場合があるので、今後の課題となった。また、会話を苦手ととらえていた若者が初対面の人とも会話、傾聴を体験することで気づきを得られたことをうれしく思う。[傾聴・お話ボランティア]
- ・実際に見ることと、知識としてもっているのみとでは、災害救助犬に対する感想がずいぶんと変化していくことを感じる。[災害救助犬静岡]
- ・コミュニケーションを取ろうと思っている子どもたちは積極的に声をかけていたが、日本語に自信がなかったり、恥ずかしいと思ってしまう年頃の子は、ブラジル人同士でいる方が多かった。[ソヒゾ・デ・クリアンサ日伯交流協会]
- ・(参加者の)川上君はバランス感覚が非常にいい子で、カヤックの操作の飲み込みも非常に早く、随分楽しめたのではないかな。よかったと思う。[静岡県教育フォーラム]
- ・参加者の中には生き物が好きな子もいて、一般の参加者も含めた中で私が質問したところ、モズの速贄(ハヤニエ)と回答した子がいて驚いた。もう少し時間があればもっと深く説明してあげられたのにと反省している。興味を持って参加した子供たちに、受け入れる側として満足な対応ができなかったことを残念に思う。[せんがまち棚田倶楽部]
- ・生徒さん、それぞれに目的を持って来てくれたと思うが、短時間では達成できなかったと思う。[生活支援施設かすみ草]

4. 今後の中高校生 NPO 体験セミナーに向けて、実施方法などについてのご意見をお聞かせください。

- ・実施時期は OK。[里山再生クラブ]
- ・またお互いに話し合っ決めてほしい。[ミライ]
- ・本来、夏休み期間中の予定とのことだったが、過ごしやすい時期に体験してもらえたのは良かったと思う。大変かと思うが、センター員の方がアテンドしてくれたので非常に助かった。[うまのあと]
- ・実体験をして頂くことが、一方的に聞くことのみより効果的なことを再確認できた。

- 年長者と話をしたい、聴きたい考えを持っていることを知ることができたので、この点にも重点を入れて続けていきたいと考えた。[傾聴・お話ボランティア]
- ・機会があれば、また受け入れ可能。[災害救助犬静岡]
 - ・繰り返し行うことで双方の交流が進むと思う。回を重ねていきたい。[ソヒゾ・デ・クリアンサ日伯交流協会]
 - ・費用がかかるが、当フォーラムが連休や長期の休みを利用して行っている1泊2日～4泊5日の交流合宿のNPO体験セミナーも、その目的を学ぶためにはいいと思う。[静岡県教育フォーラム]
 - ・受け入れ側としては、参加する子供たちが何を目的としているのか、何に興味があって応募したのかを知る必要があると思う。それを知らずに体験だからと押し付けていたら、子供たちにとっては期待外れになる場合が多いのではないか。[せんがまち棚田倶楽部]
 - ・次年度は、夏休み期間の数日間の開催にしたいと思う。満足できる開催にしたい。[生活支援施設かすみ草]

VI. 所感

例年、中高生NPO体験セミナーは夏休みに行っていたが、今年はコロナ禍による影響で時期をずらして10月～12月の休日に実施した。実施団体であるNPO法人は、日頃の活動に苦勞している最中にもかかわらず、時期や内容を工夫しながらほぼ例年通り協力してくれたことは意義深いことだった。

参加者は、高校3年生の参加が激減するなど少人数にとどまったが、中高生向けのアンケート結果からは、事業の目的はほぼ達成できたと感じている。一方、NPO法人からはもっと多くのことを体験させたかったという意見が出ているので、今後は中高生が1回の体験にとどまらず、継続して参加できる仕組みづくりも考えていきたい。

以上